

東京航空局とは

航空は、我が国の経済発展と国際交流を支える経済社会の活性化・国際競争力向上のための戦略的基盤としての役割や、災害時の復旧拠点や航空救急搬送など、国民生活に不可欠な足として定着、発展しております。東京航空局は観光先進国の実現等を目指し「東日本の空」の安全・安心の確保と航空輸送の発展を支えています。



Message from Staff

これまでどんな業務を担当してきましたか？

飛行機を安全に運航するためにいろいろな装置を駆使しており、その装置の電源を安定して供給するための非常用発電装置や無停電電源装置の維持・管理を担当しています。維持管理していく上では装置を止めて点検を行います。その調整が時には全国規模で行うこともあり苦労することもあります。飛行機に乗っている時は見えませんが安全を支える大切なお仕事です。



一般職機械区分 採用

これまで東京や沖縄などへ転勤がありましたが、旅行とは違いそこに住むことによって知ることのできる文化であったり参加できるイベントがあったりするなど、様々な体験ができました。また、出身地が異なる方と一緒に仕事していますのでいろいろな風土の違いを感じることもよくあります。

安全性向上のため新技術の開発などの部署もありますので新しいことにチャレンジすることが好きな方は一度話を聞きに来てみてはいかがでしょうか。

この仕事のやりがいは何ですか？

みなさんは”航空灯火”をご存じですか？ 航空灯火とは夜間、飛行機に乗った際に滑走路や誘導路で光っているライト等が航空灯火になります。白、赤、黄、緑、青など様々な色で滑走路や誘導路を彩るさまは光のカーテンさながらです。私が所属している航空灯火・電気技術官は大まかに「航空灯火の設置・運用・管理」、無線装置や管制塔・庁舎等への安定的な電源を供給している「航空保安用電気施設の設置・運用・管理」に関する業務を行っています。その中から今回は「航空灯火の業務」を通してやりがい感じた体験についてお話しします。

当官では実際に運航している航空機のcockpitに同乗し、パイロット目線で航空灯火の視認性を確認したり、パイロットから意見を伺う搭乗訓練があります。訓練中、着陸態勢に入り、悪天候のなかでも航空灯火のおかげで滑走路や誘導路の形状がわかり安心感を得られました。また、パイロットから「日本の空港は航空灯火の断芯がなく、素晴らしい。夜間のフライトでも安全に運航できる」とのお言葉を頂き、励みになりました。日々、行っている業務は緑の下の力持ちとして空の安全を守っているのだとやりがいを感じました。興味がある方は当官の門戸をたたいていただければ幸いです。



一般職電気・電子・情報区分 採用

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！



東京航空局採用

で検索

